



令和4年6月3日
富士市立須津小学校
学校だより（6月号）

子どもたちの生き生きとした姿

校長 望月 秀一

六月に入り、紫陽花の花が綺麗に咲いています。

1日の運動会は、晴天の下、大勢の保護者、ご家族の皆様に見守られて開催ができました。たくさんのご声援をありがとうございます。また、コロナ禍での運動会へのご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

今年度は、6年生が運動会を盛り上げたいとの思いから、色ごと（赤・青・黄）盛り上げ隊を結成し、応援ポーズを考えたり、士気を高めるために昼の放送でメッセージを送ったりするなど、活気のある運動会になりました。また、その他にも昼の放送で競技や演技の紹介をしたり、「運動会頑張ろうポスター」の作製を呼び掛けたりしました。さらに、運動会直前には、6年生が各学級を訪問し激励に行きました。このように、学校のリーダーである6年生が活躍してくれたことで、運動会が盛り上がったことはもちろんですが、下級生の6年生に対する温かな眼差しも感じられ、一体感のある中で運動会を迎えることができました。私は6年生の「運動会を成功させるんだ。」との熱い思いが伝わり、嬉しくもあり、頼もしく思いました。

開会式の力強い盛り上げ隊長のメッセージから運動会が始まりました。

1年生の「かごいっぱい げんきだま！！」では、一生懸命かごをめぐらして入れる姿がとても可愛く感じられました。

2年生の「大玉 わっしょい！」は、4人でロープをしっかり持ち、大玉が落ちないように、走るスピードも考えながら仲間と頑張る姿がとてもよかったです。低学年ダンス「えんとつ町のプペル」では、笑顔いっぱいにリズムに合わせて伸び伸びと踊る姿に、見ている私たちも思わず微笑んでしまいました。1・2年生の一生懸命さが伝わってきました。



中学年「須津ソーラン」は、力強い曲に合わせて、全身を使って踊る姿にたくましさを感じました。動きもよく、いい顔で演技することができました。3年生「すどっ子ダービー2022」は3クラスが接戦でした。最後の最後まで諦めずに走る姿がとても輝いて見えました。4年生「嵐を呼ぶ10才・天才・天災！？」は4人で息を合わせて棒に振り回されずに踏ん張る姿にたくましさを感じました。仲間を励まし一生懸命取り組む姿がよかったです。



5年生「心をついに！長縄リレー」では焦る気持ちを押さえながら、一生懸命10回跳び次のペアへつないでいきました。周りで数を数えながら応援する姿に優しさを感じました。6年生「絶対に負けられない戦い～SUDO PRIDE RACE～」3チームに分かれ全員リレーを行いました。バトンをつなぎ、全力で走る姿に、さすが6年生だと心が熱くなりました。仲間を応援する姿も気持ちが伝わり、嬉しくなりました。高学年「たくましく 咲きほこれ すどっ子桜 150th Anniversary」は創立150周年にふさわしくまとまりがあり、力強い演技でした。「先輩から受け継いだ伝統を、次の未来へつないでいきたい。」という6年生の言葉に感動しました。演技も美しく、迫力があり、感激しました。



どの学年の演技も、子どもたちの一生懸命さや最後まで諦めず、今持っている力を出し切ろうと精一杯頑張る姿があり、見ていた皆様の中にも感動した方は多かったと思います。限られた時間で練習を重ね、活躍した子どもたちです。この経験を次の学校生活の場で生かしてほしいと思います。来場された皆様、ご声援をありがとうございます。